

しらかわはとり 主要地方道白河羽鳥線

まなこ 「真名子バイパス」開通



主要地方道白河羽鳥線は、現在、白河市を起点とし西郷村を經由しながら天栄村に至る県道であります。江戸時代のはじめ手綱坂と呼ばれる峠があり大変な悪路であったことから、羽鳥村の名主が歳月をかけ改修したことにより、会津から江戸への米を運ぶ道となったという歴史をもっております。

それから300年以上経過した現在も、県南地域と会津地域を結ぶ産業、物流、文化の交流に欠かすことのできない道路であり、近年は羽鳥湖を中心とした滞在型リゾート地へのアクセス道としても重要な役割を担っております。



しかしながら、西郷村羽太地内から天栄村羽鳥地内にかけては、急峻な地形であることから、幅員が狭く急カーブ・急勾配が連続するため、特に冬期間はスリップ事故等が多発する状況にありました。

このため、県といたしましては、交通の支障となっている区間の内、延長1,705mについて平成5年度から整備に着手し、12月8日に開通することが出来ました。



真名子バイパス



真名子大橋

この開通により、安全で円滑な交通が確保されることはもとより、先の国道289号^{かし}甲子道路の全線開通や、県道那須甲子線^{なすかし}の無料開放の効果もあいまって広域の観光周遊や、地域間の交流が一層促進されることが期待されます。

